



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語)  
           : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244(教会)  
           : (714) 527-1456(牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

◎石 叫 叫 ◎

「日本にきたユダヤ難民」②

バルハフティク博士自身は、難民の身でありながら、ユダヤ人救済の責任を一身に背負ってこれら難民救済のために文字通り命を賭けて奔走した。

一九八八年二月、イスラエルのH・ヘルツォーク大統領が、昭和天皇の大葬の礼に参列した。戦時中、日本はナチス・ドイツの友邦であったから参列するなど、という一部の反対を押し切った。大統領は、二月二十六日、東京のユダヤ人協会の歓迎の宴に臨み、日本人、ユダヤ人の出席者を前に、「先の大戦において、多くの国がドアを閉ざしていたころ、日本および日本の管理地では数万のユダヤ人に避難場所が与えられました。われわれは、日本国民のこの行為を永遠に忘れません。ユダヤ人に対する日本の態度は、当時ヨーロッパで起きていたこととはまったく対照的であり、ひととき輝いています」とあいさつした。

数ある国の中で、特に日本政府の態度は高く評価される。ドイツ、リトアニアから流出した多数のユダヤ人難民にドアを開いてくれたからである。当時、大英帝国は、難儀しているユダヤ人をパレスチナから絞めだした。超大国アメリカは影響力あるユダヤ人社会を持ちながら、彼らに対して閉鎖政策をとり続けた。このような背景を考えて見ると、窮地に追い詰められたユダヤ人難民にドアを開き、安全に受け入れてくれた日本の行為は称賛に値する。

戦後、良心にしたがって四〇〇〇人もユダヤ人に日本通過ビザを発給した杉浦千畝氏は自分の行為を宣伝することもなく、一九八六年の夏に世を去った。その前年、イスラエル政府は「諸国民のなかの正義の人」賞を贈り、さらに十一月にはエルサレム西方のベンシエメシの丘に、記念碑が建てられた。ロサンゼルス市内・リトル東京 (First St. & Central Ave.) にも、日本を通過してアメリカに渡ったユダヤ人たちによって立てられた記念碑がある。等身大の銅像はベンチに腰掛け、手には命のビザを持っている。

「何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりせよ」(マタイ七・12)とは「黄金律」と言われ、聖書の教えの最高峰である。日本はユダヤ人に借りがある。日露戦争の時、資金難の日本を援助した一人が、アメリカのユダヤ人銀行家、ヤコブ・シフであり、それによって戦争に備えることができた。しかし、私たちすべては、十字架についてまでも私たちが愛し、天国へのビザを発給して下さった主イエスに、永遠の借りがある。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

